

機械・精密システム工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本機械学会2015年度年次大会
演題名	SUS304鋼の高温多軸疲労き裂進展に対する負荷位相差, 及びスリット形状の影響 (第2報)
発表者	○ <u>磯貝 毅</u> , 飯田雄太※, 百目鬼忠文※, 高橋悠樹※
内容	2015年9月に北海道大学工学部で行われた上記学会において、磯貝准教授(当時)が上記演題を発表した。SUS304鋼の高温多軸疲労き裂成長試験を行い、多軸疲労き裂成長に及ぼす負荷位相差, スリット形状の影響について検討した結果について紹介した。負荷位相差のある場合は、同位相の時に比較して概ねき裂成長が減速する特性を示すこと, スリット形状によって疲労き裂発生とその後のき裂進展特性に及ぼす負荷位相差の影響の程度が異なること等を報告した。本学会には磯貝准教授(当時)が参加した。